

# ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ



11月になるとドイツもどんどん寒くなって冬のよ  
うな寒さを感じます。紅葉もほぼ終わっていて、  
日本のさつまいもみたいにドイツに温かい栗  
(Heiße Maroni) の販売が始まります。  
鍋のような煮込みやスープ (Eintopf) を作る人  
も少なくないでしょう。

## 秋の行事: 聖マルティンの日

11月11日には、St. Martinstag (聖マルティンの日) という秋の代表的民族行事があります。聖マルティンというのは、元々ローマの騎士ですが、キリスト教にも関心を持ち、さまざまな善行した人です。その中で代表的なのは、「ある冬の日、寒さに震える貧しい男に出会った聖マルティンは、自分のマントを剣で半分に切り裂いて、片方をその男にかけてやった」という逸話です。

聖マルティンの日、子供たちが学校や幼稚園で作った提灯を手を持って歌を歌いながら家々を回って街の中心にたかかっているマルティンの火という大きい焚火まで練り歩きます。そこで聖マルティン様の再現劇があって、助け合う隣人愛や慈善をアピールするため、例のマントが半分に分けられます。芝居の後、皆が歌を歌ったり、お菓子を食べたりして家族と友達と一緒に楽しみます。今になっても歌を聴くとすぐ懐かしくていい思い出がたくさんあふれ、つい歌いたくなります。



作者：クリスティーネ・バウアー (ティーネ)  
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp